

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ココロ(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2026年 3月23日		～ 令和8年 4月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2026年3月9日		～ 2026年3月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者からの事業所職員への信頼性が高く、利用児も安心して利用できる良好な関係性が築けている。	利用児と保護者と意思疎通を大切に、保護者へ日々の様子の共有や丁寧な説明、相談しやすい環境づくりを心がけている。関係機関との連携し、利用児を取り巻く環境全体を踏まえた支援体制の構築に努めている。	利用児について情報の共有漏れを防ぐため情報共有する媒体を今後も試行錯誤し、職員間で一貫性のある支援体制の強化を図る。
2	研修やヒヤリハット事例の再発防止、保護者からの相談についての検討を行い、組織として支援の維持・向上できる体制を整えている。	委員会による定期的な研修の実施、ヒヤリハット事例を事業所内で再発防止について検討し安全管理体制の強化に努めている。	人員不足による業務負担を工夫しながら研修時間の確保、再発防止策の共有と定着を図り、安全管理体制の一層化を目指す。保護者を交えた研修を行い訓練や緊急時対応の取り組みの周知を目指す。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児の心身的特徴に随時対応するための十分なスペースがない。	利用児の発育、成長によって個々のスペースが拡大しているため同じ時間に5名程の児童が利用する際には空間的余白が少ない。	頻繁に空間を見直し物品の配置換えなど行う必要がある。／人員配置が十分な時は2階スペースや外へ散歩に行くなどしてワンフロアで全児童が過ごす時間を工夫する／現行しているパーテーションやカーテンや他の方法を検討する。
2	利用児童に見合った人員配置が不十分と感じる場合がある。記録作成や行事企画などデスクワークに十分な時間が確保できない。	利用児の多様な特徴を受け入れていることに関して、個々に常に対応できる人員が不足している。支援業務を優先せざるを得ず、デスクワークなどの十分な時間が業務時間内に確保が難しい。	随時スタッフ募集の取り組みを行う事／増員までは現行のスタッフが余力を持って対応できる環境設定や時間的配置の工夫などを行う。
3			